



人々は個人、組織、社会、国や世界のために日々いろいろな仕事をし、役割を果たしています。スポーツや演劇のように、成果や努力が子どもからお年寄りまで、すぐ分かってしまう仕事や活動がある一方、世界的といわれる数学者の活躍などは、その分野の人にはしか理解されず、一生努力を続けてその役割を果たしたかどうか、社会的に確かめられることは少ないです。このような仕事に携わるものほど「刻苦精励」の言葉を毎日忘れずに、日々の仕事に就かなければなりません。

構造設計の仕事は、工事の

## 地震発生に備え「刻苦精励」忘れずに

日本建築学会会長 和田 章  
東京工業大学名誉教授

しやすさから竣工した建築の美しさ、使いやすさ等で成果がすぐに分かるものもありますが、滅多に襲ってこない地震への強さや挙動は設計者が生きている間には発揮されないこともありま。大変なことですが「刻苦精励」を忘れるわけにはいきません。

織本匠先生にはお会いしたことはありませんが、伊藤力雄先生、榊原信一先生には大変お世話になり、現代表の中澤昭伸先生とはお若いころから免震構造・制振構造の研究会で何度も一緒にしました。会社の技術陣の優秀さはもちろんですが、率いている方の人柄が大事です。若い人から社外の人の意見を最後まで聞き、一つひとつの建築の設計に心を入れていく姿はいつも素晴らしい。非常に大事なお仕事です。さらなるご発展を期待しております。